サポート情報記事

投稿の書式設定: リッチ テキスト エディター、画像、コード ブロック

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

エディターが表示される場所 4

ツール バー 5

キーボード ショートカット 6

リンク 6

引用とコード ブロック 7

画像 8

他のアプリケーションからの貼り付け 9

サニタイザーが保持するもの 10

用語 12

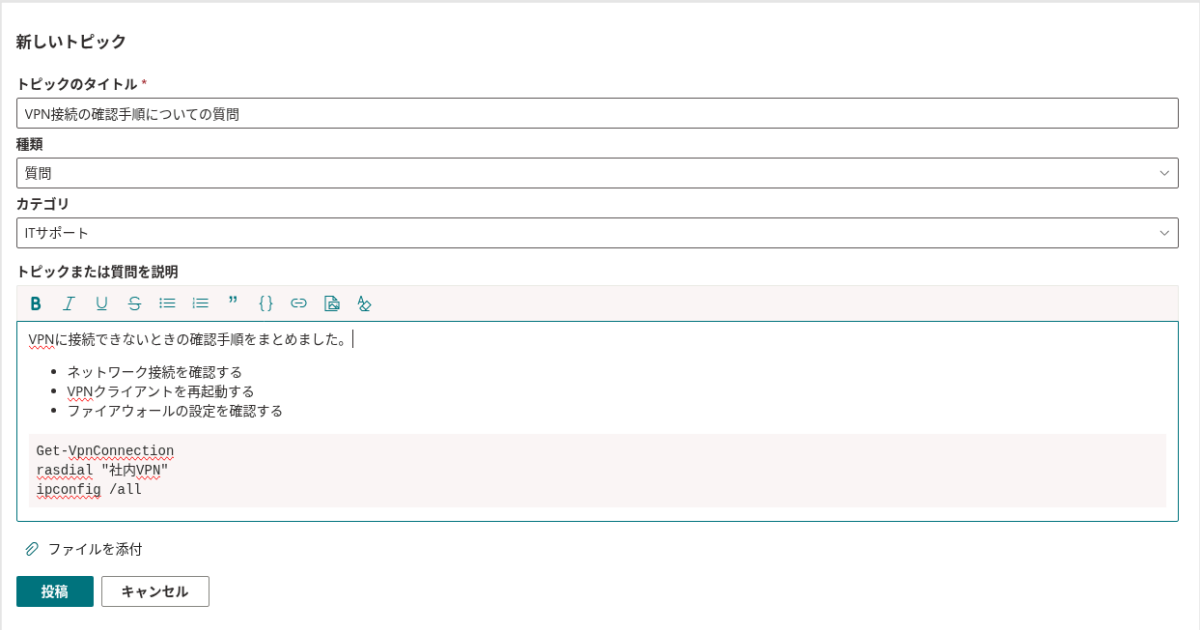
概要

Discussions のすべてのトピックとすべての返信は、同じ軽量なリッチ テキスト エディターで作成します。このエディターには、強調、**リスト**、引用、コード ブロック、リンク、インライン画像など、フォーラムに必要な書式が用意されていますが、スレッドをページ レイアウトの作業に変えてしまうような機能はありません。テキストは HTML としてサイトの **Discussions Topics** リストと **Discussions Posts** リストの **本文** 列に保存され、保存時と表示時の両方で許可リスト方式のサニタイザーを通過するため、投稿にスクリプト、スタイル、埋め込みフレームが含まれることはありません。

この記事では、ツール バー、キーボード ショートカット、リンク、引用とコード ブロック、画像を挿入する 3 つの方法、そしてサニタイザーが保持するものと削除するものについて説明します。

エディターが表示される場所

- **新しいトピック** フォームでは、タイトルの下の **トピックまたは質問を説明** フィールドとして表示されます。トピックの本文は省略可能で、必須なのはタイトルだけです。
- トピックの末尾では、プレースホルダー **返信を書く...** が表示された返信ボックスとして表示されます。**投稿** ボタンは、ボックスが空の間は無効で、テキストまたは画像が入力されると有効になります。
- 任意の返信の下で **返信** をクリックした後に表示されます。このときエディターには、**返信先** に続けて投稿者の名前が表示され、エディターが空の間はその **投稿** ボタンが無効になります。
- 自分が書いた返信で **編集** をクリックしたときに表示されます (モデレーターはどの返信でも編集できます)。既存のテキストがエディターに読み込まれ、**保存** で新しいバージョンが保存されます。エディターが空の間は **保存** が無効です。
- トピックで **編集** をクリックしたときに表示されます。作成者は、トピックがロックされていない間は編集でき、モデレーターはどのトピックでも編集できます。タイトル、カテゴリ (ボードにカテゴリがある場合)、本文はその場で変更でき、本文には同じエディターが使われます。**保存** または **キャンセル** で編集を終了します。



新しいトピック フォームのリッチ テキスト エディター

ツール バー

編集領域の上にあるツール バーには 11 個のボタンがあります。ボタンにポインターを合わせると、その名前と、ある場合はショートカットが表示されます。

ボタン	機能
太字 **(Ctrl+B)**	選択したテキストを太字にします
斜体 **(Ctrl+I)**	選択したテキストを斜体にします
下線 **(Ctrl+U)**	選択したテキストに下線を引きます
取り消し線	選択したテキストに取り消し線を引きます
箇条書き	現在の段落を箇条書きに変換するか、テキストに戻します
番号付きリスト	現在の段落を番号付きリストに変換するか、テキストに戻します
引用	現在の段落を、左側に色付きの罫線が付いた引用として書式設定します
コードブロック	現在の段落を、等幅フォントの整形済

ボタン	機能
	みブロックとして書式設定します
リンク **(Ctrl+K)**	ハイパーリンクを追加するための **リンクアドレス** ボックスを開きます
画像を挿入	1 つ以上の画像をアップロードするためのファイル選択ダイアログを開きます
書式をクリア	選択範囲からインライン書式を削除し、ブロックを通常の段落に戻します

ツール　バーのボタンをクリックしてもテキストからフォーカスは外れないため、ボタンをクリックしてそのまま入力を続けられます。画像のアップロード中は、ツール バーの末尾に小さなスピナーが表示されます。

キーボード ショートカット

キー	操作
Ctrl+B / Cmd+B	太字
Ctrl+I / Cmd+I	斜体
Ctrl+U / Cmd+U	下線
Ctrl+K / Cmd+K	**リンクアドレス** ボックスを開く
リンクアドレス ボックスでの **Enter**	リンクを挿入する
Esc	リンク ボックスまたは @メンションの候補を閉じる

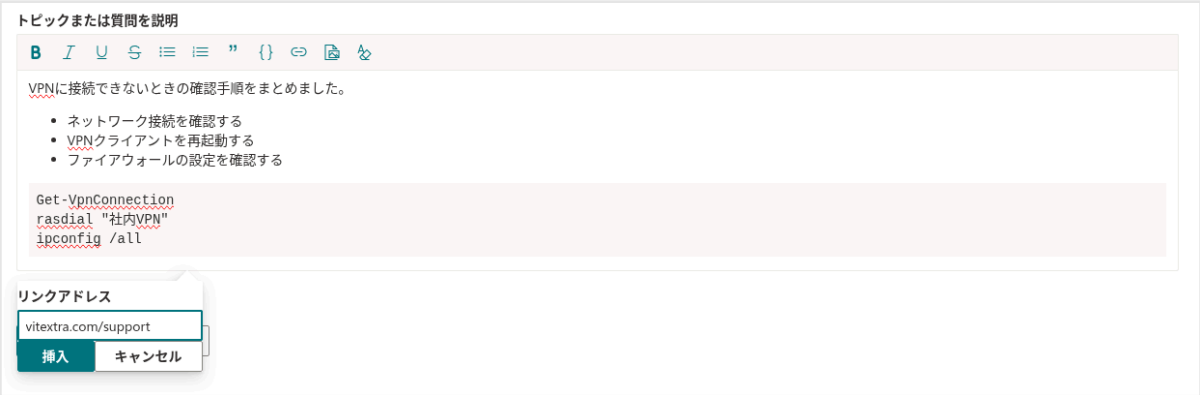
その他の組み合わせ　(たとえば、元に戻す　**Ctrl+Z**　や書式なしで貼り付ける **Ctrl+Shift+V**) は、他の編集可能なフィールドと同様にブラウザーが処理します。

リンク

1 リンクにするテキストを選択し (省略可能)、**リンク (Ctrl+K)** をクリックします。

2 **リンクアドレス** にアドレスを入力または貼り付け、**挿入** をクリックするか **Enter** キーを押します。

テキストを選択していた場合は、そのテキストがリンクになります。何も選択していなかった場合は、アドレス自体がリンク テキストとして挿入されます。プロトコルなしで入力したアドレス (`vitextra.com/support`) は `https://vitextra.com/support` として保存されます。エディターは `http:`、`https:`、`mailto:` およびサイト相対 (`/sites/ ...`) のアドレスを受け付け、すべてのリンクは `rel="noopener noreferrer"` 付きで書き込まれます。



リンクアドレス ボックスを使ったリンクの追加

引用とコード ブロック

引用 は、カーソルがある段落をブロック引用に変換します。左側に色付きのバーが付き、テキストはやや控えめな色で表示されます。返信先のメッセージやドキュメントの抜粋を引用するのに便利です。

コードブロック は、段落を整形済みブロックに変換します。等幅フォント (Windows では Consolas)、網掛けの背景が適用され、スペースと改行がそのまま保持されます。長い行は水平スクロール バーを表示する代わりに折り返されるため、スマートフォンでもブロックが読みやすいままです。PowerShell、スクリプト、構成の断片、ログの抜粋など、インデントが重要なあらゆる内容に使用してください。

引用やコード ブロックから抜けるには、その中にカーソルを置いて **書式をクリア** をクリックします。ブロックが通常の段落に戻ります。または、ほとんどのエディターと同様に、ブロックの末尾で **Enter** キーを 2 回押します。

メモ

構文の強調表示や言語の選択機能はありません。コード　　ブロックは等幅のプレーン テキストです。エディターには見出し、文字色、フォント サイズ、表のボタンもありません。こうした書式を貼り付けた場合にどうなるかについては、「**サニタイザーが保持するもの**」を参照してください。

画像

テキスト内の任意の場所に、次の 3 つの方法で画像を配置できます。

- ツール バーの **画像を挿入** - ファイル選択ダイアログが開きます。複数の画像を一度に選択できます。
- **貼り付け** - 別のアプリケーションからスクリーンショットや画像をコピーし、エディターで **Ctrl+V** キーを押します。
- **ドラッグ アンド ドロップ** - コンピューター上の 1 つ以上の画像ファイルを編集領域にドロップします。

各画像は、サイトの `Discussions Assets` ドキュメント ライブラリ内の、現在の年の名前が付いたフォルダー (`2026`、`2027`、...) に、時刻ベースのプレフィックスで始まる一意のファイル名でアップロードされます。そのため、2 人のユーザーが `screenshot.png` をアップロードしても互いに上書きすることはありません。その後、エディターはカーソル位置に画像を挿入し、元のファイル名を代替テキストとして設定します。画像は元のサイズで表示され、投稿の幅より広い場合は幅に合わせて縮小されます。



インライン画像とコード ブロックを含む返信

警告

インライン画像のサイズ上限は **10 MB** です。これより大きいファイルは拒否され、何も挿入されません。エディターの上に理由 (*画像が 10 MB を超えています。*) を示す赤いメッセージ バーが表示され、閉じるボタンで閉じることができます。それ以外の理由でアップロードに失敗した場合は、同じバーに **SharePoint** が返したエラー、または一般的なメッセージ *申し訳ありません。問題が発生しました。ページを更新して再試行してください。* が表示されます。複数の画像を選択してそのうちの 1 つが失敗した場合、それより前の画像はテキストに残り、残りはアップロードされません。ファイル選択ダイアログ、貼り付け、ドロップのいずれでも受け付けられるのは画像ファイルだけです。PDF、スプレッドシート、アーカイブを共有するには、代わりに添付ファイルを使用してください。「KB10402. トピックと返信へのファイルの添付」を参照してください。

その他に、知っておくと役立つ点をいくつか挙げます。

- エディター内で画像のサイズを変更することはできません。小さく表示したい場合は、アップロード前に画像をトリミングまたは縮小してください。
- 投稿内の画像は、**Discussions Assets** ライブラリを閲覧できるすべてのユーザーに表示されます。既定では、他の Discussions リストと同様にサイトのアクセス許可を継承します。
- 返信またはトピックを削除すると、そこで使用していた画像も **Discussions Assets** ライブラリから削除されます。トピックを削除すると、その返信と返信内の画像も削除されます。このクリーンアップはベスト エフォートで、このライブラリのファイルのみが対象です。また、編集中に投稿から取り除いた画像はライブラリに残るため、サイトの所有者はいつでもライブラリをクリーンアップできます。
- このライブラリは他のリストと一緒に作成されます。掲示板が以前のプレビュービルドで作成されたものである場合、モデレーター (**リストの管理** アクセス許可を持つユーザー) が Web パーツのあるページを (編集モードかどうかにかかわらず) 開くと、不足しているリストが追加されます。それまでは、画像ボタンがエラーを報告します。「KB10431. 画像または添付ファイルをアップロードできない」を参照してください。

他のアプリケーションからの貼り付け

Word、Outlook、Web ページ、Teams などから書式付きのコンテンツを貼り付けると、エディターはサニタイザーが許可する構造 (段落、太字と斜体、リスト、リンク、表、見出し) を保持し、それ以外 (フォント、色、サイズ、配置、インライン スタイル、クラス) は通知せずに破棄します。貼り付けた HTML に外部リンクとして含まれる画像はそのアドレスを保持し、ファイルとして貼り付けた画像は前述のとおりアップロードされます。プレーン テキストを貼り付けると、プレーン テキストとして挿入されます。

サニタイザーが保持するもの

同じ許可リストが投稿の保存時と表示時に適用されるため、リスト フォームから書き込まれたコンテンツや、クラシック掲示板からインポートされたコンテンツも同様にクリーンアップされます。

	保持されるもの
ブロック要素	`p`、`div`、`br`、`hr`、`blockquote`、`pre`、`h1-h4`、`ul`、`ol`、`li`、`table`、`thead`、`tbody`、`tr`、`th`、`td`
インライン要素	`span`、`b`、`strong`、`i`、`em`、`u`、`s`、`strike`、`del`、`code`
リンク	`a` と、その `href`、`title`、`target`、`rel` および `data-mention-id` (@メンションで使用)
画像	`img` と、その `src`、`alt`、`title`、`width`、`height`
許可されるアドレス	`http:`、`https:`、`mailto:`、`tel:`、サイト相対 (`/`) およびページ内 (`#`) のアドレス。画像については、インラインの `data:image/png`、`jpeg`、`gif`、`webp` も許可されます

それ以外はすべて削除されます。

- `script`、`style`、`iframe`、`object`、`embed`、`svg`、`math`、`template`、

`noscript` は、HTML コメントと同様に、その内容ごと削除されます。
- その他のタグ (たとえば `font`、`video`、`form`、`input`) は削除されますが、そのテキストは保持されます。
- 上記以外のすべての属性 (`style`、`class`、`id`、`onclick` およびその他のイベント ハンドラー) は破棄されます。
- 別のスキーム (`javascript:`、リンクの場合の `data:`、`file:`) を使用するアドレスを持つリンクや画像は、その属性を失います。

残ったすべての `a` タグには `rel="noopener noreferrer"` が付与されます。`style` は決して保持されないため、文字色、背景色、フォント ファミリ、フォント サイズ、配置は、ブラウザー拡張機能で入力したものでもドキュメントから貼り付けたものでも残りません。これは、投稿の見た目を統一し、サイトのテーマに従わせるための意図的な設計です。

ヒント

表にはツール バーのボタンがありませんが、Excel や Word から貼り付けた表は、行とセルを保持します (罫線と色は除く)。数行を超えるものについては、代わりにファイルを添付し、重要な数値をテキストで説明してください。掲示板の背後にあるリストと列の全体像については、「KB10426. Discussions のリストと列のリファレンス」を参照してください。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。

機能

機能は、サイト列、コンテンツ タイプ、Web パーツ、アプリケーション ページ、カスタム アクション、リスト テンプレート、リスト インスタンスなど、SharePoint 要素 (アーティファクト) のセットです。